

NPOとの協働事例

【事例 13】

事業名	村上・岩船広域観光対策事業（粟島観光振興懇談会）		
実施年度	平成18年度	協働の形態	意見交換
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型の観光振興策を検討し、粟島の地域資源の有効活用を図る。 ・地域住民とのワークショップ形式による検討会を開催し、地域資源の掘り起こし、再発見、再確認を行いながら、モデルコース等を作成する。 		
協働の相手方	団体名：NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター 法人格（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無）		
事業費（決算額）	105,480円		
協働に至る経過 （協働事業を行ったきっかけ）	<p>【事業企画・提案者】 <input checked="" type="checkbox"/>県 <input type="checkbox"/>NPO</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粟島の観光振興策を検討するにあたり、計画段階から住民に参加してもらうことにより参加意識を高め、コース作成後の実行段階における参加度・実現度を高めることを目指した。 ・住民が自由な意見を出し合える場とするため、進行管理及び幅広い知識に裏付けられたまとめる技術をもったコーディネーター・ファシリテーターが必要となった。 		
	<p>相手先の選定方法（※委託事業の場合のみ）</p> <input type="checkbox"/> 随意契約 <input type="checkbox"/> 企画コンペ <input type="checkbox"/> 競争入札 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
役割分担	<p>県：事業全体の企画、粟島浦村役場との連絡・調整</p> <p>NPO：ワークショップの進行管理</p>		
協働事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり活動に精通したコーディネーターを中心に、ワークショップを通して自由な意見を出し合うなかで、身近にありすぎて見えなくなっていた地域の財産の再発見・再確認を行うことができた。その発見をモデルコースづくり・名物弁当の作成へとつなげ、地域住民が主体となって行動する機運を醸成できた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度にモニターツアーを開催し、コースの検証を行い、より実現性の高いものへと磨き上げていく必要がある。 ・地元の受入組織（窓口）づくりを進めると共に、観光ボランティアの育成が必要である。 ・グリーンツーリズムとの連携を推進する必要がある。 		
今後の協働事業実施の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と合意形成のための高度な技術を持ち合わせ、かつ、地域に密着した団体であり、今後とも管内の地域づくりを推進する上で欠かすことのできない団体である。 		
事業担当部・課	村上地域振興局企画振興部 地域振興課（TEL：0254-52-7231）		

成功のポイント

担当者が語る

- ・ コーディネーター・ファシリテーターを配置し、自由な意見を出し合える場づくり。
- ・ 事業計画が出来上がってからではなく、最初の段階から住民に参加してもらうことにより、自分たちで作上げた自分たちの計画という意識が生まれ、行政と民間それぞれの役割を自覚し、自立した活動へとなりつつある。



ワークショップ開催風景